

## 非課税上場株式等管理に関する約款 新旧対照表

平成25年10月23日改定  
が改正箇所です。

現 行	変 更 後
<p>第1条（約款の趣旨）</p> <p>1. この約款は、お客さま（満20歳以上の個人のお客さまに限ります。以下同じ。）が租税特別措置法第9条の8に規定する非課税口座内の少額上場株式等に係る配当所得の非課税および租税特別措置法第37条の14に規定する非課税口座内の少額上場株式等に係る譲渡所得等の非課税の特例（以下、「非課税口座に係る非課税の特例」といいます。）の適用を受けるために、株式会社トマト銀行（以下、「当社」といいます。）に開設された非課税口座について、<u>同条第5項第2号に規定される要件および当社との権利義務関係を明確にするための取決め</u>です。</p> <p>2. お客さまと当社との間における、各サービス、取引等の内容や管理義務に関する事項は、この約款に定めがある場合を除き、「投資信託総合取引約款」等他の約款の定めるところによるものおよび租税特別措置法その他の法令によります。</p> <p>第2条（非課税口座開設届出書等の提出）</p> <p>1. お客さまが非課税口座に係る非課税の特例の適用を受けるためには、当該非課税の適用を受けようとする年の9月30日までに、当社に対して租税特別措置法第37条の14第5項第1号および第6項に基づき「非課税適用確認書の交付申請書兼非課税口座開設届出書」および住民票の写し等租税特別措置法その他の法令で定める書類を提出して下さい。</p> <p>なお、当社では別途税務署より交付を受けた「非課税適用確認書」を併せて受領し、当社で保管いたします。</p> <p>2. 「非課税適用確認書の交付申請書兼非課税口座開設届出書」について、同一の勘定設定期間に異なる証券会社または金融機関に重複して提出することはできません。</p> <p>3. お客さまが非課税口座に係る非課税の特例の適用を受けることをやめる場合には、租税特別措置法施行令第25条の13の4に規定する「非課税口座廃止届出書」を提出して下さい。</p> <p>第3条（非課税管理勘定の設定）</p> <p>1. 非課税口座内の少額上場株式等に係る配当所得および譲渡所得等の非課税の適用を受けるための非課税管理勘定（この契約に基づき当該口座に記載もしくは記録または保管の委託がされる上場株式等につき、当該記録もしくは記載または保管の委託に関する記録を他の取引に関する記録と区分して行うための勘定で、平成26年から平成35年までの各年に設けられるものをいいます。以下同じ。）は、第2条第1項の「非課税適用確認書」に記載の勘定設定期間においてのみ設けられます。</p> <p>2. 前項の非課税管理勘定は、当該勘定設定期間内の各年の1月1日（「非課税適用確認書」が年の中途において提出された場合における当該提出された日の属する年にあつては、その提出の日）において設けられます。</p> <p>第4条（非課税管理勘定における処理）</p> <p><u>上場株式等（租税特別措置法第37条の14第1項各号に掲げる株式等をいいます。以下同じ。）の振替口座簿への記載もしくはは</u></p>	<p>第1条（約款の趣旨）</p> <p>1. この約款は、お客さま（満20歳以上の個人のお客さまに限ります。以下同じ。）が租税特別措置法第9条の8に規定する非課税口座内の少額上場株式等に係る配当所得の非課税および租税特別措置法第37条の14に規定する非課税口座内の少額上場株式等に係る譲渡所得等の非課税の特例（以下、「非課税口座に係る非課税の特例」といいます。）の適用を受けるために、株式会社トマト銀行（以下、「当社」といいます。）に開設された非課税口座について、<u>租税特別措置法第37条の14第5項第2号に規定する要件および当社との権利義務関係を明確にするための取決め</u>です。</p> <p>2. お客さまと当社との間における、各サービス、取引等の内容や管理義務に関する事項は、この約款に定めがある場合を除き、「投資信託総合取引約款」等他の約款の定めるところによるものおよび租税特別措置法その他の法令によります。</p> <p>第2条（非課税口座開設届出書等の提出）</p> <p>1. お客さまが非課税口座に係る非課税の特例の適用を受けるためには、当該非課税の特例の適用を受けようとする年の8月31日までに、当社に対して租税特別措置法第37条の14第5項第1号および第6項に基づき「非課税適用確認書の交付申請書兼非課税口座開設届出書」および住民票の写し等租税特別措置法その他の法令で定める書類を提出して下さい。</p> <p>なお、当社では別途税務署より交付を受けた「非課税適用確認書」を併せて受領し、当社にて保管いたします。</p> <p>2. 「非課税適用確認書の交付申請書兼非課税口座開設届出書」について、同一の勘定設定期間に当社または他の証券会社もしくは金融機関に重複して提出することはできません。</p> <p>3. お客さまが非課税口座に係る非課税の特例の適用を受けることをやめる場合には、租税特別措置法施行令第25条の13の4第1項に規定する「非課税口座廃止届出書」を提出して下さい。</p> <p>第3条（非課税管理勘定の設定）</p> <p>1. 非課税口座に係る非課税の特例の適用を受けるための非課税管理勘定（この契約に基づき当該口座に記載もしくは記録または保管の委託がされる上場株式等（租税特別措置法第37条の11の3第2項に規定する株式等をいいます。以下同じ。）につき、当該記載もしくは記録または保管の委託に関する記録を他の取引に関する記録と区分して行うための勘定で、平成26年から平成35年までの各年に設けられるものをいいます。以下同じ。）は、第2条第1項の「非課税適用確認書」に記載された勘定設定期間においてのみ設けられます。</p> <p>2. 前項の非課税管理勘定は、当該勘定設定期間内の各年の1月1日（「非課税適用確認書」が年の中途において提出された場合における当該提出された日の属する年にあつては、その提出の日）において設けられます。</p> <p>第4条（非課税管理勘定における処理）</p> <p><u>上場株式等の振替口座簿への記載もしくは記録または保管の委託は、非課税管理勘定において処理いたします。</u></p>

現 行	変 更 後
<p>記録または保管の委託は、非課税管理勘定において処理いたします。</p> <p>第5条（非課税口座に受け入れる上場株式等の範囲）</p> <p>当社は、お客さまの非課税口座に設けられた非課税管理勘定においては、次に掲げる上場株式等（当該非課税口座が開設されている当社の営業所に係る振替口座簿に記載もしくは記録がされ、または当該営業所に保管の委託がされるものに限ります。）のみを受け入れます。</p> <p>① 次に掲げる上場株式等で、第3条第2項に基づき非課税管理勘定が設けられた日から同日の属する年の12月31日までの間（以下「受入期間」といいます。）内に受け入れた上場株式等の取得対価の額（イの場合、購入した上場株式等についてはその購入の代価の額をいい、払込みにより取得をした上場株式等についてはその払い込んだ金額をいい、ロの場合、非課税口座に係る他の年分の非課税管理勘定からの移管により受け入れた上場株式等についてはその移管に係る払出し時の金額をいいます。）の合計額が100万円を超えないもの</p> <p>イ 受入期間内に当社への買付けの委託（当該買付けの委託の媒介、取次ぎまたは代理を含みます。）により取得をした上場株式等、当社から取得した上場株式等または当社が行う有価証券の募集（金融商品取引法第2条第3項に規定する有価証券の募集に該当するものに限ります。）により取得をした上場株式等で、その取得後直ちに非課税口座に受け入れられるもの</p> <p>ロ 非課税管理勘定を設けた当社非課税口座に係る他の年分の非課税管理勘定から租税特別措置法その他の法令で定める手続により移管がされる上場株式等</p> <p>② 租税特別措置法施行令第25条の13第10項各号に規定する上場株式等</p> <p>第6条（譲渡の方法）</p> <p>非課税管理勘定において振替口座簿への記載もしくは記録または保管の委託がされている上場株式等の譲渡は、当社への売委託による方法、当社に対する方法、または租税特別措置法第37条の10第4項第1号もしくは第2号に規定する事由による上場株式等の譲渡について、当該譲渡に係る金銭および金銭以外の資産の交付が当社を経由して行われる方法のいずれかの方法により行います。</p> <p>第7条（非課税口座内上場株式等の払出しに関する通知）</p> <p>非課税口座から上場株式等の全部または一部の払出しがあった場合（第5条第2号により取得する上場株式等で非課税口座に受け入れなかったものであって、非課税口座に受け入れた後直ちに当該非課税口座から払い出されたものとみなされるものを含みます。）には、当社は、お客さまに対し、当該払出しをした上場株式等の租税特別措置法第37条の14第4項に規定する払出し時の金額および数、その払出しに係る同項各号に掲げる事由およびその事由が生じた日等を書面または電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法により通知いたします。</p> <p>ただし、非課税口座内上場株式等が特定口座に払い出される場合は、当社は、当該払出しに係る通知を省略することができます。</p>	<p>第5条（非課税口座に受け入れる上場株式等の範囲）</p> <p>当社は、お客さまの非課税口座に設けられた非課税管理勘定においては、次に掲げる上場株式等（当該非課税口座が開設されている当社の営業所に係る振替口座簿に記載もしくは記録がされ、または当該営業所に保管の委託がされるものに限ります。）のみを受け入れます。</p> <p>① 次に掲げる上場株式等で、第3条第2項に基づき非課税管理勘定が設けられた日から同日の属する年の12月31日までの間（以下「受入期間」といいます。）に受け入れた上場株式等の取得対価の額（イの場合、購入した上場株式等についてはその購入の代価の額をいい、払込みにより取得をした上場株式等についてはその払い込んだ金額をいい、ロの場合、非課税口座に係る他の年分の非課税管理勘定からの移管により受け入れた上場株式等についてはその移管に係る払出し時の金額をいいます。）の合計額が100万円を超えないもの</p> <p>イ 受入期間内に当社への買付けの委託（当該買付けの委託の媒介、取次ぎまたは代理を含みます。）により取得をした上場株式等、当社から取得した上場株式等または当社が行う有価証券の募集（金融商品取引法第2条第3項に規定する有価証券の募集に該当するものに限ります。）により取得をした上場株式等で、その取得後直ちに非課税口座に受け入れられるもの</p> <p>ロ 非課税管理勘定を設けた当社非課税口座に係る他の年分の非課税管理勘定から租税特別措置法その他の法令で定める手続により移管がされる上場株式等</p> <p>② 租税特別措置法施行令第25条の13第10項に規定する上場株式等</p> <p>第6条（譲渡の方法）</p> <p>非課税管理勘定において振替口座簿への記載もしくは記録または保管の委託がされている上場株式等の譲渡は、当社への売委託による方法、当社に対して譲渡する方法、または租税特別措置法第37条の10第3項第3号または第4項第1号もしくは第2号に規定する事由による上場株式等の譲渡について、当該譲渡に係る金銭および金銭以外の資産の交付が当社を経由して行われる方法のいずれかの方法により行います。</p> <p>第7条（非課税口座内上場株式等の払出しに関する通知）</p> <p>非課税口座から上場株式等の全部または一部の払出し（振替によるものを含むものとし、租税特別措置法施行令第25条の13第10項各号に規定する事由に係るものおよび特定口座への移管に係るものを除きます。）があった場合（第5条第2号により取得する上場株式等で非課税口座に受け入れなかったものであって、非課税口座に受け入れた後直ちに当該非課税口座から他の保管口座への移管による払出しがあったものとみなされるものを含みます。）には、当社は、お客さまに対し、当該払出しをした上場株式等の租税特別措置法第37条の14第4項に規定する払出し時の金額および数、その払出しに係る同項各号に掲げる事由およびその事由が生じた日等を書面または電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法により通知いたします。</p>

現 行	変 更 後
<p>第8条（非課税管理勘定終了時の取扱い）</p> <p>1. 本約款に基づき非課税口座に設定した非課税管理勘定は当該非課税管理勘定を設けた日から同日の属する年の1月1日以降5年を経過する日に終了いたします。</p> <p>2. 前項の終了時点で、非課税管理勘定に係る上場株式等は、次のいずれかにより取扱うものとします。</p> <p>① 第5条第1号口に基づく非課税口座に新たに設けられる非課税管理勘定への移管</p> <p>② 非課税管理勘定が設けられた非課税口座から他の保管口座（租税特別措置法第37条の14第4項第1号に規定する非課税口座から他の上場株式等の振替口座簿への記載もしくは記録または保管の委託に係る口座をいいます。）への移管（特定口座への移管は、お客さまが特定口座を開設されている場合に限り。）</p>	<p>第8条（非課税管理勘定終了時の取扱い）</p> <p>1. 本約款に基づき非課税口座に設定した非課税管理勘定は当該非課税管理勘定を設けた日から同日の属する年の1月1日以降5年を経過する日に終了いたします。</p> <p>2. 前項の終了時点で、非課税管理勘定に係る上場株式等は、次のいずれかにより取扱うものとします。</p> <p>① 第5条第1号口に基づく非課税口座に新たに設けられる非課税管理勘定への移管</p> <p>② 非課税管理勘定が設けられた非課税口座から他の保管口座（他の株式等の振替口座簿への記載もしくは記録または保管の委託に係る口座をいいます。）への移管（特定口座への移管は、お客さまが特定口座を開設されている場合に限り。）</p>
<p>第9条（他の年分の非課税管理勘定から移管がされる上場株式等）</p> <p>当社は、第5条第1号口または前条第2項第1号に基づく移管は、租税特別措置法施行令第25条の13第9項の定めるところにより行います。</p>	<p>第9条（他の年分の非課税管理勘定から移管がされる上場株式等）</p> <p>当社は、第5条第1号口および前条第2項第1号に基づく移管は、租税特別措置法施行令第25条の13第9項の定めるところにより行います。</p>
<p>第10条（非課税口座取引である旨の明示）</p> <p>1. お客さまが受入期間内に、当社への買付けの委託により取得をした上場株式等、当社から取得した上場株式等または当社が行う上場株式等の募集により取得をした上場株式等を非課税口座に受け入れようとする場合には、当該取得に係る注文等を行う際に当社に対して非課税口座への受入れである旨の明示を行っていただく必要があります。</p> <p>なお、お客さまから特にお申出がない場合は、特定口座または一般口座による取引とさせていただきます（特定口座による取引は、お客さまが特定口座を開設されている場合に限り。）。</p> <p>2. お客さまが非課税口座および非課税口座以外の口座で同一銘柄の上場株式等を保有している場合であって、非課税口座で保有している上場株式等を譲渡するときには、その旨の明示を行っていただく必要があります。</p> <p>なお、お客さまから、当社の非課税口座で保有している上場株式等を譲渡する場合には、先に取得したものから譲渡することとさせていただきます。</p>	<p>第10条（非課税口座取引である旨の明示）</p> <p>1. お客さまが受入期間内に、当社への買付けの委託により取得をした上場株式等、当社から取得した上場株式等または当社が行う上場株式等の募集により取得をした上場株式等を非課税口座に受け入れようとする場合には、当該取得に係る注文等を行う際に当社に対して非課税口座への受入れである旨の明示を行っていただく必要があります。</p> <p>なお、お客さまから特にお申出がない場合は、特定口座または一般口座による取引とさせていただきます（特定口座による取引は、お客さまが特定口座を開設されている場合に限り。）。</p> <p>2. お客さまが非課税口座および非課税口座以外の口座で同一銘柄の上場株式等を保有している場合であって、非課税口座で保有している上場株式等を譲渡するときには、その旨の明示を行っていただく必要があります。</p> <p>なお、お客さまから、当社の非課税口座で保有している上場株式等を譲渡する場合には、先に取得したものから譲渡することとさせていただきます。</p>
<p>第11条（取得対価の額の合計額が100万円を超える場合の取扱い）</p> <p>1. お客さまが当社に対し、非課税口座での上場株式等の取得に係る注文等を行い、当該注文等の約定の結果、当該非課税口座に係る非課税管理勘定内に受け入れる上場株式等の取得対価の額の合計額が100万円を超える場合には、当社は、当該注文等により取得する上場株式等の取得対価の額のうち、当該非課税管理勘定に係る取得対価の額の合計額が100万円に達するまでは非課税口座に、100万円を超える部分は非課税口座以外の口座で受け入れます。</p> <p>2. 第1項の規定は、第5条第1号に掲げる上場株式等においても同様とします。</p>	<p>第11条（契約の解除）</p> <p>次の各号に該当したときは、それぞれに掲げる日にこの契約は解除されます。</p> <p>① お客さまから租税特別措置法施行令第25条の13の4第1項に定める「非課税口座廃止届出書」の提出があった場合は、当該提出日の翌日</p> <p>② 租税特別措置法施行令第25条の13の4第3項に定める「出国届出書」の提出があった場合は、出国の日</p> <p>③ お客さまが出国により居住者または国内に恒久的施設を有する非居住者に該当しないこととなった場合は、租税特別措置法施行令第25条の13の4第4項に規定する「非課税口座廃止届出書」の提出があったものとみなされた日の翌日（出国日）</p> <p>④ お客さまの相続人・受遺者による相続・遺贈（贈与をした者の死亡により効力を生ずる贈与を含みます。）の手続きが完了し、租税特別措置法施行令第25条の13の5に定める</p>

現 行	変 更 後
<p>第12条（契約の解除）  次の各号に該当したときは、それぞれに掲げる日にこの契約は解除されます。</p> <p>① お客さまから租税特別措置法施行令第25条の13の4第1項に定める「非課税口座廃止届出書」の提出があった場合  当該提出日の翌日</p> <p>② 租税特別措置法施行令第25条の13の4第3項に定める「出国届出書」の提出があった場合  当該「出国届出書」に記載する出国日までの間で当社が定める日</p> <p>③ お客さまが出国により居住者または国内に恒久的施設を有する非居住者に該当しないこととなった場合  租税特別措置法施行令第25条の13の3第4項に規定する「非課税口座廃止届出書」の提出があったものとみなされた日の翌日（出国日）</p> <p>④ お客さまの相続人・受遺者による相続・遺贈（贈与をした者の死亡により効力を生ずる贈与を含みます。）の手続きが完了し、租税特別措置法施行令第25条の13の5に定める「非課税口座開設者死亡届出書」の提出があった場合  当該非課税口座開設者が死亡した日</p> <p>⑤ お客さまがこの約款の変更に同意されないとき</p> <p>第13条（約款の変更）  この約款は、法令の変更または監督官庁の指示、その他必要が生じたときに改定されることがあります。  なお、改定の内容が、お客さまの従来の権利を制限するもしくはお客さまに新たな義務を課すものである場合には、その改定事項を通知します。  この場合、所定の期日までに異議のお申出がないときは、その変更に同意したものとみなします。</p> <p>第14条（合意管轄）  お客さまと当社との間のこの約款に関する訴訟については、当社の本店または支店の所在地を管轄する裁判所のうちから当社が管轄裁判所を指定できるものとします。</p> <p>附則  この約款は、平成25年6月20日より適用させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">以 上</p>	<p>「非課税口座開設者死亡届出書」の提出があった場合は、当該非課税口座開設者が死亡した日</p> <p>⑤ お客さまがこの約款の変更に同意されないとき</p> <p>第12条（約款の変更）  この約款は、法令の変更または監督官庁の指示、その他必要が生じたときに改定されることがあります。  なお、改定の内容が、お客さまの従来の権利を制限するもしくはお客さまに新たな義務を課すものである場合には、その改定事項を通知します。  この場合、所定の期日までに異議のお申出がないときは、その変更に同意したものとみなします。</p> <p>第13条（合意管轄）  お客さまと当社との間のこの約款に関する訴訟については、当社の本店または支店の所在地を管轄する裁判所のうちから当社が管轄裁判所を指定できるものとします。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>